



かたしな

10月

平成15年(2003年)

No. 579



今月の主な内容

市町村合併	2~6
できごと	7~9
年金広報	9
バック先生の英語教室・広報文芸	10
おしらせ	11~13
図書室だより	12
いたずらわんぱく・窓口から	14

秋晴れのなか
第45回片品村民運動会が
開催されました。

(詳細7P)

う愛着と、今までずっと片品村において何も問題は起こらなかったじゃないか、これからも問題は起こりえないであろうということであると思います。また、合併した場合の多くの方の不安として、片品村は区域内の最北端にあるという事で、見放され過疎化の一途をたどり、最後は無くなってしまうのではないかと、そんな事はありえませんが、現実の財政はどうでしょうか。現在の片品の財政は利根沼田地区で1、2の厳しさです。やりたいことを自由に行えるほどの余裕がある状況ではありません。さらには、今後の補助金の削減や交付税の減額問題です。これらに変わる財源も用意されるようですが、国の厳しい財政状況から全体額では従来よりは減額になる事は間違いないようです。合併反対を訴える村民の多くは、先にもふれたように十分な検討の結果の合併反対ではないのだと思います。サービスの低下や場合によっては村税の引き上げ等を伴う事を覚悟した上で反対でないと思います。確かに行財政の効率性のみが今

回の争点ではない事は良くわかっていきます。しかし、これは重要な一面です。今後様々な面において、官(国と地方公共団体)と民との問題がクローズアップされてくる事は間違いありません。今後高齢社会を迎えるにあたって社会保障負担と租税負担などの国民負担率の問題が大きな検討課題となってくる事は間違いないと思います。そのような中において官の行政運営はギリギリな状況までの効率性を求められます。効率的な行政を行わなければたち行かなくなるからです。一部では、合併すれば15年間の地方交付税の優遇措置を受けられる。逆に考えると「15年後には合併しても、しなくても同様に交付税の減額を受け、同じように財政は厳しくなるんだ」という意見があります。しかし本当にそれででしょうか。私は財政的には全く違う結果になると考えます。例えば、現在の片品村の歳出のうち、20%位を占めている人件費に関して考えてみます。例えば、千人の村に百人の役場職員が必要であったとして、その10倍の市である一万人の市にはその10倍の職員は

必要ではありません。せいぜい5倍から7倍くらいの職員で十分サービスの対応は出来るでしょう。各自治体の基礎的業務というのは人口にかかわらず、全ての自治体が負っており、その事務が多くを占めているからです。ただ、合併したからといってすぐにそんな職員の減員はできませんが、定年退職者が出ても職員の補充をしないとか、定年前の職員の希望により早期退職を進めることにより20年後くらいには簡単にそのような結果を出せると思います。あるいは、千人の村が10団体あると、10人の村長がいて10人分の報酬が必要ですが、それが1つになれば1人の村長の報酬で足りる。このように、合併した場合には割合簡単に人件費の削減ができます。人件費の節減を図ればそれが全てOKとは思いませんがこのような効果がある事は事実です。また、これは人件費に関してだけでなく多くの行政面で言えることだと思います。今話題の住基ネットに関しても各町村で導入費用を掛けるよりも、全部まとめて一ヶ所で管理するほうが費用を削減できる事

は明瞭です。ところが合併しなかった場合は、合併した場合のようにには全体の事務量も経費も減るわけではありませんから、その節減は大変です。しかし厳しい財政はそのままですので、合併しなかった場合の厳しさは格段の違いがあります。そして最終的には村民の税負担を多くしたり、サービスの低下という事で対応しなければなりません。今後予想される介護や国民健康保険財政等の福祉にかんする爆発的な財政需要の増加を考えた場合、単独存続で本当に満足なサービスの提供が可能なのでしょうか。支出が増えれば収入を増やすという安易な手法から村民に負担を転嫁することとなるのではないのでしょうか。利根沼田地区の合併という選択をすることにに関して、大きければ全てがうまくいくという事ではありませんが、先に述べたように、財政的にはかなりの削減効果が期待されます。一方、財政面以外の地域の同質性とか一体感とかに関しては、多くのものが沼田を中心として広がっており、広域行政もかなりうまくいっている地域であると思ってい

ましたのでその辺も問題はないでしょう。当村の医療の面においても、休日の無医村化状況での緊急医療への対応や高度先端医療への対応をかんがえた場合、やはり広域的な行政の枠組の方が将来の対応がより良好になるのではないのでしょうか。また、合併をすると片品村がなくなるように思う方がいますが、今でも村からの助成を受けなくても元気な地域又は団体がたくさんあります。これからは地域の方々のアイデアで元気を作り出す事が求められるのではないのでしょうか。全てを行政に求めるのではなく、必要に応じて能力や人材あるいは最低限の助成を受けるといふ事で地域を発展させる事となるんだと思います。合併後において、片品区域内において必要ならば地域がまとまって活動をし、努力をしていけば良いんだと思います。さらに、この地域の大きさは群馬県の28%を占めるとともに、水源地の利根川の源流地域でもあります。この地区の首長の政治的な発言力は当然大きなものとなってくることは間違いありません。多くを期待します。思いつ

市町村合併

利根沼田市町村任意合併協議会が開催され片品村は九市町村の法定合併協議会には不参加の意思を表明しました。



九月二十二日、片品村役場において、第七回任意合併協議会が開催され、利根沼田九市町村長が法定合併協議会参加の賛否について意思表示を行い、沼田市、月夜野町、水上町、新治村の四市町村長が正式に参加を表明しました。片品村においては、これまでに何回か行った住民説明会、アンケートの結果、議会議員の意見等を尊重し参加をしない意向を表明しました。ほかに不参加の自治体は、白沢村、利根村、川場村、昭和村の東部五力村でした。

これにより、西部ニヶ町村と沼田市の合併協議会とは別に枠組み等を検討することになります。

市町村合併アンケートの皆さんからの意見です (追加)

市町村合併アンケートの自由意見については、9月号の広報かたしなでお知らせいたしました。紙面の都合により掲載できなかった意見について、次のとおり報告いたします。

1. 合併賛成の立場からの意見

・公務員、議員数が少なくなるのは良いと思う。
・片品村だけで小学校1校で中学校1校で、議員・職員の削減。何事もそうですが、市町村の発展も又、指導者のいかににかかっていると思います。公務員は公僕と言われますが、公僕だけではダメです。良き指導者でなくてはなりません。9市町村を集めることが出来、適材を適所に集める事が出来ると思えます。他市町村との交流も活発になり他の良い所をどんどん取り入れる事が出来ると思います。悪いところも出てくるかもしれませんが良い所のほうが多くなる様な気がします。現在の片品に活を入れる為にも合併が悪い

ことではないと思います。

2. 合併に条件がある立場からの意見

・以前から言われているが、まだまだ時間をかけて検討した方が良いと思う。
・村当局、決定に同調する。
・今回の合併問題は、片品村の将来を左右する大問題にもかかわらず住民の関心は低く、地区ごとの説明会に区の役員を除くほとんどの数名程度、「広報かたしな」や、組ごとの説明で合併の一般的なメリット、デメリットを示されただけで、このようなアンケートがどのような意味を持つのか？今回のアンケート結果をもって民意と判断するのは、あまりにもお粗末だ。村当局が本心に、民意を問うのであるならもっと細かな情報を示すべきだ。先日示されたシミュレーションは村民を全く馬鹿にしたのか、それとも意図的に示さないのか、こんな村の姿勢が関心の低さを招いているのでは？どのような案件も豊富な資料があれば検討できません。これから重要なことが決定されるわけ

だが、くれぐれも慎重にご審議願いたい。

・このようなアンケートは、使い方によって様々に利用されるので本心に難しいと思います。本来ならばもっと合併についての理解が深まった段階でなされるのが一番良いのでしょうか。しかし国の理不尽な15年9月までの法定協議会への参加(不参加)というリミットからやむを得ないのでしようが、このアンケートから出された数字だけにとらわれず、住民の現在の情報の状況等を踏まえて活用していただきたいと思います。また、このアンケートだけで全てが完結する訳ではありません。今後とも合併問題に関しては情報が不可欠です。例えば役場職員や議会あるいは有識者で議論した片品村独自の問題点等が住民に提示されなければならぬと考えます。時間が無いと言う状況は理解できますが、この問題は村長を4・5回決める選挙以上に重要なものではないかと私は考えています。今回のアンケートでは、多分過半の方が合併に反対として回答することを予感します。片品村を残したいとい

と雪が溶けて水力発電を起こし都会の各県の水源をなしている。明治中期までは奥州。又下野(シモツケ)現栃木県に通ずる主要幹線道も通っていた。この当時水力電気(発電所)が建設されるに当り戸倉山林は戸倉、土出、越本、3地域の所有であったが一部を残し現在の東京電力(株)、東小川地域は一部を残し上毛電力(株)、十条製紙(株)に譲渡し建設が進められ現在に至っている。このような型の中に固定資産税が片品村に入っている。長い歴史の中に大東亜戦争後の復興材として国産材の役目を果たしてきたのであるが、この土地の人達が守護してきた賜物である。昭和の40年頃までは国境の幹線として戸倉山林の尾瀬沼線(三平峠)富見峠線。鳩待峠線を戸倉、土出、越本の3地区にて雪溶けを倒木、橋架、土砂崩れその他復興を人足(無給)で行い夏は葉生茂る道刈り。台風の復興等、東小川方面は東小川の地域の人達が同じような奉仕作業を行ったがその後の観光、及び木材搬出、造林により現在の奉仕作業は止めているが戸倉山林(尾瀬)については地

区の婦人会その他各団体が高山植物(踏み荒らした場所)の移植、種まき等奉仕している片品村は建国時代より何千年の長期にわたり守護してきたまたそして高山植物のある場所名前(呼名)又花の咲く時期などを植物学者を案内して、現時あのような文獻が出来たのである。昔から世界各国が港、鉄道、道路、現在には空港が充実した国は栄えるといつたがまさにその通りである。我が片品村は地形的に関西、東北別の中央地であり峠があつて都に出るにも苦労があつたが当時の上毛電力(株)が水力発電所を建設するため片品川と大滝川を堰き止めて堰堤を造り幡谷発電所建設するにあたり群馬県と一緒に県道として鎌田まで昭和初期自動車道の開発されたのである。この自動車道の開発にもなつて諸施設(観光をはじめ木材会社)等、数えきれない諸々の型が生まれて目覚ましい発展がなされたのである。私達の先輩諸侯が雪が降ると山の頂上にも(水がめ現在のダムを意味する言葉)片品村の方言で面白く話してくれ当時冬期は雪を利用して木材木炭薪等運搬するの

に高度に生かし平坦地の米造りが畑作飲料水に役立つ上と言つた。この言葉の中にこの土地の長い間の中に語られた(歴史)良く調べてみるとこの土地の特殊性の誇りを意味したのである。私はこの先輩の言葉(歴史)を良く調べ現時あを進路を考える時もつと勉強しなければならぬ。厳しい言葉であるが行政にあたる職員の方々にはもつと勉強して欲しい。(ゴルフその他遊ぶ事を控えて)片品村の歴史、特に他県や各市町村に強く働き各省庁を動かし、村民に解る村づくりをしてくれ、一般村民の方々は今将来の片品村の事を心配して研究している。職員諸侯よ高い所に座っていないで真の声を聞いて欲しい。先にも述べたとおりの一例を言うならば尾瀬地帯を現在の様に誇りのもてる所にしたのは現在の政府(官庁)ではない、この土地の人たちだ。この尾瀬を掲げて観光を始めた諸々の商売が多額の投資をしてきたがそれが実りつつある矢先に官庁が乗り出してきて地元の声も聞かず縮小縮小の声を高らかに走っているこれではこの関係者は皆滅びてしま

う。この片品村諸々の特殊性を生かすには行政と議会が強くなり地元の声も反響させるべきである。これを実現するには行政と議会の方々も勉強して各官庁に対し自治体の強さを示すべきである。沼田若松線鉄道又は自動車道の開通が行われる明治18年上野より高崎線の開通当時より叫ばれているが官庁にはばまれば現在に至っている。日本国中陸続きで鉄道も自動車道も抜けていないのは群馬県と福島県だけである。関門トンネルをはじめ瀬戸内海は大きな橋をかけ青函トンネルも出来た時代に沼田若松線だけが駄目なのか尾瀬の特別地区を他に変更すれば抜けるのではないか。沼田若松線及び椎坂トンネルが開通すれば片品村の現在の人口の倍になつても生活できる要素があると関東開発協会の大手会社は言っている。この道路が開通すれば太平洋側や日本海側よりも通る人達が増えるそのため各産業が生まれて当村は発展する。片品村の特殊性を活かす要素は数え切れないほどあるがこの辺で筆を止める。この意見者は大正中期この片品村に生を受けて現在86歳

であるが、この間先輩の言い伝え(歴史)を紐解き現実この目で見てきたことを述べたのである(真実なり)

・役場内の職員の仕事の態度が悪い。地方交付税の問題よりも村民の住民税、固定資産税、も(片品村の予算として)使っている事の認識が薄いのでありませんか。「取れるところからはとる。取りにくい所には蓋をする。」そんな感じですよ。今の税金の使い道を村民全体で考える村長にすべきです。合併の前に片品村のすべきことは山のようにあります。アンケートの集計の内容を村民に公表してください。

・沼田市との合併で片品の財政が良くなるのかわからない。利根沼田農協は合併で職員が削減され農家のサービスは低下した。利根沼田で合併した場合、職員の給料はアップするだろう。又異動も利根沼田管内になるだろう。私は職員の判断に任せたいと思う。私は片品村役場の職員が偉がっているように思う。(全員ではないが)何かを教えても言う事は聞かずに仕事はしない。中には一所懸命やっ

くまを書きましたが、どうぞ今後の百年間の片品村を左右する最重要案件です。慎重にご審議の上決定されるようお願いいたします。

・はつきりいって、自分自身の判断はむずかしい。村としての判断は難しいと思うので一人一人の村民に考えてもらうために、住民投票をお願いしたい。

村から財政シミュレーションが出されたが広域で（合併によらずとも）対応できる事にはどんなことがあるのか？住民サービスの格差が比較できる資料が欲しい。例えば、利根村は保育料が片品村に比べて安いと聞いているが、一方親の持ち出し負担は片品村に比較してあるともきいている。そこまで踏み込んだ資料が欲しい。アンケートの結果は集計したものを出力していただきたい。各村民、各議員の意見を伺いたい。たぐさんの方の意見を聞かせてもらえる場、資料を出していただきたい。

・市町村合併による地域格差が起る事が心配だ。しかし市町村長、議員、職員の削減はおこなわなくてはならない問題ではないかとも思う。

・現在片品村の企業では、リストラ給料の削減、ボーナスなし、女性は社会保険かけてもらえないと、厳しいことが聞かれています。回りの情勢をみて、役場職員も色々見直していく必要があるのではないのでしょうか？村民は赤字の村政より少しでも良い方を選ぶのでは！

・このアンケートは全くの初歩ですから、限り少ない時間ではありますが、2回3回といった、第1回アンケート集計後も繰り返し、内容を煮詰めていただきたい。地方分権も経済的合併も時代の流れの中でおきてきたものでしょうから、拒みはしません、何よりも何時の時代も1市民、1住民1村民を基にその集まりの小さい単位の自治から考えて市、県、国と役割分担、補完が実行される事を心から願います。変わることを恐れず、村民の一番苦手を話し合い、議論が正常に面倒がらずに繰り返し言つて欲しいです。良くなるためのハードルと考えて。生涯学習とも言えるでしょう。

・市町村合併することにより片品村の、一村民としてとても不安です。片品村報を見せてもら

い市町村合併の具体的メリットデメリット、片品村財政シミュレーション、政策的経費で削減が出来るかと考えられるもの。色々の事が大きく十になりま

す。色々の事が大きく一にもなります。これからの役員さんが大変だと思いますが少しでも良い方へ私たち村民が安心して暮らせようと考えていただきませうお願いします。

・まず最初に感じた事は、当初からの合併問題に対して行政及び議会議員の対処の仕方（特に村会議員）の情報収集の不足を感じた。村の将来を担う責任ある立場の方々はすでに合併を行った市町村及び早々と合併を拒否した村等の情報・考え方を勉強し片品に置き換えて分析し、広く村民・区民に説明するべきであった。今回、合併問題の行政からの説明が遅かった事、又議員さんの勉強不足・行動不足からも現時点での合併アンケートを行つても正確な村民意見は期待できない。あいまいなアンケートを参考に議会審議し、あいまいな議員が決議を行う事に片品の将来がとても心配になる。基本的には合併は反対では

あるが、当然現状維持というわけにいかず、当面の間村のシミュレーション以上に経費の削減（議員・委員及び役場職員の削減）年間行事の自粛・村民の村に対しての義務的（半ば強制）奉仕又今以上に村の団結を促すため・すぐ行動するための各種委員会の設置、行政・議会議員・各種団体・村民の方々が意見交換できる定期的な会合の場の設置等今後は是非お願いしたい。

・水上町とだけ合併して直通の道（トンネル）を通す。そうすればインターも近くなるし、共通の観光がふえるのではないかと合併とは関係ないが冬場も金精峠は閉鎖して欲しくない。もしくは、関越自動車道から「尾瀬有料道路」的なものを作り「日光自動車道」までつなげれば交通のアクセスが良くなり観光客も一年通して増えるのではないかと（夏の尾瀬、冬のスキー）

3. 合併反対の立場からの意見

盆地内の地域住民に良い点があるのみかんがある。なにをするにも最後は多数で決められる。もつと政府は山村の生き残りを考えるべきだと思います。合併しても必ずよい結果が出るとは思われない。合併し、もし悪い結果がでたら誰が責任をとるのだ。魚を釣るような特例で国民をだますような政府のやり方は納得できない。皆に良い事だと思いが保証できるか。合併しようものなら天下の片品村は永遠に悪くなることは間違いないと思います。

・片品村はいつまでも今ままでおり、片品村として残したい。

・片品村は市町村合併をしなくもよい。我が片品村は山村であるが日本列島のほぼ中央に位置している、小さい郡に匹敵する様な面積を有している。この面積を四季を通して活用する事によつて他の市町村にない利用度がある。既に当村で尾瀬、丸沼、武尊と大きく揚げて推進している。観光を始めとして諸々の面で大きく役立っている。冬期間は山村故に山村原野に何米の雪が積もり山の頂上にも3m、5m積雪をなしてこれが春になる

できごと

三区逆転優勝

第四十五回 片品村民運動会

第四十五回片品村民運動会が九月十四日(日)に片品小学校校庭で開催されました。事前準備の後夕立でラインが消えてしまいました。当日係員の方々の協力により予定どおり各演技や競技が実施されました。

なお、大会は六十メートル競走や抽選競争、綱引き、保育園児の遊技等が行われ、観客席からの応援や声援を得て、最後の区対抗リレーが終わるまで大いに盛り上がりました。

主な成績については次のとおりです。

☆ 総合結果

- 優勝 第三区 二〇一点
 準優勝 第五区 一九九点
 第三位 第八区 一九〇点
 第四位 第四区 一七一点
 第五位 第一区 一四三点
 第六位 第六区 一二五点
 第六位 第七区 一二五点
 第八位 第二区 九八点

☆ 種目別優勝

- *六十米女子**
 三十代 萩原 深雪(七)10秒15
 四十代 星野恵美子(三)9秒24
 五十代 松浦 一江(一)10秒41

*六十米男子

- 四十代 星野 勤(八)7秒94
 五十代 戸丸 浩(三)8秒66
 六十以上今井 功(三)9秒10

*玉入れ 第五区

*二百米女子

- 二十未満 萩原 南(七)30秒31

*二百米男子

- 二十未満 吉野 智彰(八)25秒90
 二十以上 佐藤 安彦(八)27秒63

*千五百米

- 萩原 和樹(七)4分45秒50

*抽選競争女子

- 三十代 星野たけ子(二)
 四十代 入沢身奈子(五)
 五十以上 萩原 春美(七)

*抽選競争男子

- 三十代 星 則彦(四)
 四十代 入沢 良夫(五)
 五十以上 角田 幸治(三)

*消防団出動競争

- 一組 星野 文昭(三)
 二組 桑原 智也(二)

*老人会ゲートボール 第二区

*婦人会リレー 第一区

*百米女子

- 二十未満 星野 彩香(三)14秒71
 二十代 星野 紀子(四)15秒10
 *百米男子

- 二十未満 伊藤 葵(三)12秒81
 二十代 林 雅俊(八)12秒50
 三十以上 星野 一忠(五)12秒93

*役員リレー 第五区

*綱引き 第二区

*区対抗リレー

- 女子 第三区
 男子 第五区

選手並びに役員・係員の皆様大変ご苦労さまでした。



ている職員もいる。公開しても良い情報なのに公開しない。仕事の効率が非常に悪い。横の連絡がない。(今年舗装をして、

来年はそこを切つて水道管を通すU字溝をふせて数年たつてそのU字溝を付け替える。もつと横の連絡を取り合えないだろう(か)受付に行つても職員がすぐ

に動かない。花の谷公園 便所がない、屋外ステージなどコンサルタント会社に委託するだけでなく、住民が何を必要としているか、片品に何が必要か、先進的な広い視野が職員に必要な

のではないのでしょうか。(ちなみに、あの公園は職員が昼食を食べに行きたくなるような公園を造れば、住民も観光客ももつと利用しただろう。)もつとも

失業対策としてはそれなりに土方に金が落ちたのだから良かったのかもしれない。

4. その他の意見

・質問事項がわかりにくい。村民全員のアンケートをとるとしたら年寄りが多いのだから、もつと具体的に質問すべきで説明が必要である。合併したらどうなるという現実性がわからな

い。例をたくさん出してもらいたい。現実を知りたい。村の説明員はきちんとできるのか勉強会をしているのかわからない。

・内容の良くわからないアンケートでした。これは片品村民のためにわかりやすく具体的な配慮が足りないアンケートだと思うので、どんな風に活用されるのか心配です。合併したらどう

なるか、しなかつたらどうなるか、取り組み次第で、いい村作りが出来ると思います。(合併後)このアンケートの結果が問

11、問12だけにならないようお願いいたします。
・土日の対応の体制について、昼時の対応について、交代制必要ではないか?

・問11の質問はおかしい。不要の項目が合った方がよい。これでは合併推進の方向みたいで

す。観光にかかわる仕事をしている人が村内には多いと思いがすが、お客さんの減少で民宿の者はそれだけで生活できない状態です。ペンション・民宿の人でそれだけで生活している人はおそろくゼロではないでしょうか?その割りに組合費、防火協会、衛生協会費など払うものは

減るところが増えている様な気がします。長くやってきた家業を続けたいという思いで、あるいは毎年きてくれるお客さんの為にという思いで続けています

が、先の事を考えると心沈む思いです。せめてプラスマイナスゼロでやっていける程度の収入が欲しいのですが、こんな事は

私共が言わなくても関係者の方々は重々承知かと思えますが考えれば考えるほど、むなし

くなりやり切れません。今更と言う気もしますが・・・
・高齢者と身障者の為に1日3本くらいの専門にバスが利用できるようにしていただきたい。

例えば、朝、昼、夜のように通院とか買い物が出来たらいいですね。
・あまり考える力が無いので、立派な頭のある考える力のある

人をお願いしたいと思えます。
・年寄りですから、先の事はよくわかりません。あまり考えることが出来ません。
・年寄りには難しすぎてわかりません。
・地域発展と向上を希望する。問10の不安になるといわれるものを少しでも解消して欲しい

・村も国も全体ダメだ。仕事をもつと出せ。若い人に仕事をもつと増やせ。若い人達の年金を払えない状態なのでもつと年金を考えてほしい。消費税が高すぎる。

・合併の方向でのアンケートがい感じがする。もう少し時間をとつてからの結果の方がいい答えが出ると思う。今やつと話し

合いを始めた感じがする。
・時間が短いですが、また2回3回と質の高いアンケートをお願いいたします。

・合併とは直接関係ありませんが、役場一部職員が長く同じ課にいたためいろいろな噂を聞きます。外の人は5年くらいで異動するのにどうして同じ所にいるのかおかしいと思えます。

・中学、高校生にもアンケートが必要だと思えます。これからの片品の担い手です。小さな自治体で頑張りましょう。
・少子高齢化が年々進み人口が少なくなり何かと不便になると

思う。
・アンケートは高校生からでも良いと思います。
・合併に限らずもつと近隣の市町村間で交流がもてれば良いと

思います。『開放的な街』を望みます。
・このアンケートを形だけのものとしないうで、役場、議員の方々に責任を持って片品村の将来を決めていただきたいと思

います。また、こういったアンケートに用いる紙はもつとチップ

なものでもいいと思います。
・金精道路の通年開通等無理と思われている事に積極的に取り組みましょう。知名度を上げることが今有効な方向と思

います。その部分に予算を重点配分する(全て削減では元氣も出ないしじり貧になるだけです。)まず「片品」の名前を有名に

しましょう。もつと村民に自信が出てきて良い方向に回りだす気がします。まずは、「村民のやる氣」を出す施策に金をつぎ込みませんか。



できごと

第十三回子ども会ハイキング



第十三回片品村子ども会ハイキングを九月二十一日(日)に開催しました。当日は台風十五号の影響で終日雨でしたが近年最高の百四十名を越える参加者で一部行程を変更して栃木県の日光東照宮に行つて来ました。参加した子ども会員並びに保護者・役員の皆さん大変ご苦労さまでした。



「花咲の湯」に

ナチュラルオーガニック
ガーデン誕生

年金広報

国民年金の保険料は

忘れずに納めましょう

国民年金保険料の納め忘れはありませんか。

国民年金の被保険者で、農業や自営業者、学生などの

「第1号被保険者」は、月額一三、三〇〇円の保険料を納めなければなりません。

保険料を納め忘れて未納のままにしまうと、将来受け取る年金額が減額されたり、受けられなくなるだけでなく、万が事故などで障害者になったときの障害年金や、一家の働き手が亡くなったときの遺族年金が受けられなくなる場合があります。

納め忘れている人は早めに納めましょう。

なお、保険料の納付は毎月自動的に口座から引き落とされる「口座振替」が便利ですのご利用ください。

※国民年金保険料の半額免除が承認されている方は、残りの半額を納付しないと未納と同じ扱いになりますのでご注意ください。

できごと

トライやるスポーツ・K

ゴルフ教室「8月27日

今年度は、会場を変更して白沢村で実施しました。

ゴルフ練習場では、スイングの基本について指導を受けました。「昨年よりうまくなりましてね。」とか「体の力をぬくと

振りやすいですよ。」など、親切に指導してもらいました。

その後、ハーフプレーを行いました。今年度初めて、コースに出るの指導も受けることができました。実際のコースは平らではないので、そこでの指導は



ゴルフ教室

とても参考になりました。

「インディアカ」9月18日

インディアカという競技は、インディアカ（バドミントンの

羽根を大きくしたようなもの）を使って、バレーボールとだいたい同じルールで行うものです。初めての人が多く、始めはサーブを入れるのが大変でしたが練習をするに慣れてきました。ゲームを楽しむことができました。講師が、ユーモアを交えて説明してくれたので、参加者からも笑いがありました。

シラネアオイを守る会が植生保護のロープ柵を白根山々頂に設置



シラネアオイを守る会が、九月十六日（火）秋の作業を白根山周辺で実施しました。

今回の作業は、例年行われているシラネアオイの種子採取と美化清掃のほか、登山者の踏み荒らしによって裸地化が進む、白根山々頂付近を保護するため

のロープ柵設置も行ないました。

作業に参加した、守る会のメンバーと県立尾瀬高校の生徒、自然公園指導員と地主である日本製紙の社員百人が三班に分かれ、重い杭やロープを持ち、それぞれの現場に向かいました。

現場に着くと、何本もできてしまった登山道を一本にするためにロープ柵を設置する班や、いずれ成長すれば移植されるであろう種子を採取する班、登山道沿いのゴミを拾う班、それぞれ白根山の植生回復と自然保護を願って、作業を行いました。

尾瀬太鼓愛好会が山形県太鼓連盟会長賞を受賞しました

平成十五年九月二十七日（土）山形県天童市の山形県総合運動公園において、第一回全国和太鼓競演大会 in 天童（第十八回国民文化祭山形県開催記念）が開催されました。

大会は、山形県内の五団体及び山形県外の七団体の和太鼓愛

好団体により、日ごろの練習の成果が競われました。

演奏時間は十三分で、審査は、①礼節・衣装、②構え・打法、③演奏技術、④音楽表現、⑤チームワークの五項目で行われました。

尾瀬太鼓愛好会では、高校生

以上の十四名が参加し、見事「山形県太鼓連盟会長賞」を受賞しました。これを機に、今後とも村の活性化と文化の向上を図るために、尾瀬太鼓の普及、発展に努めたいと思います。



お知らせ

消費生活展開催について

十一月十五日（土）午前十時三十分から役場二階ロビー周辺を会場に消費生活展を行います。

今年も雑古紙の回収を行います。ダンボール、新聞紙（折り込みチラシのみ可）右記以外の紙等、綴りひもは使用しないで持ち下さい。紙を束ねる必要がある場合には、紙ひもを使用して下さい。

なお、昨年まで雑古紙をお持ちいただいた方には、リサイクルペーパーをプレゼントしていましたが、今回から一個二十五円にて販売する事にしました。「買って使ってはじめてリサイクル」ご協力よろしくお願ひします。

かたしな音楽祭

かたしな音楽祭の開催についてお知らせいたします。

開催日

平成十五年十一月二日（日）
出演者の募集は次のとおり

応募資格

村内在住または村内就業就学
応募の締切り

平成十五年十月二十日（月）
応募の受付

片品村教育委員会事務局

十月二十日～二十六日は

行政相談週間です

行政相談週間は行政相談制度の理解を深めていただき、その利用の促進を図るために、総務省が定めたものです。

総務省では、住民の皆様との身近な相談相手として、民間有識者の方を行政相談委員に委嘱し、道路、登記、農地転用、年金、郵便など役所の仕事についての苦情や意見、要望等に関する相談に応じています。

特設相談所開設

日程 十月二十日（月）

午後一時から三時

場所 役場二階会議室

●片品村の行政相談委員

入澤里子さん 越本一五七七

電話（58）三二四一

この相談所では、役所の仕事について

- 納得できない
- テキパキとやってももらえない

○ どうしてよいか解らないなどの苦情や問い合わせに感じますので、お気軽にご利用下さい。相談は無料で秘密は守られます。

平成十八年冬季国体スキー競技会が片品村で開催決定

八月十九日の日本体育協会の国体委員会で決められ、九月九日の同理事会で正式に承認され、次の通り開催することが決定致しました。

村では、現在ジャンプ台の整備中であり、今後クロスカントリーコースも一部改修する予定。

尚、インターハイ及び国体開催は次の通りです。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

インターハイ

平成十七年二月五日～九日

国体

平成十八年二月十九日～二十二日

会場（両大会とも同じ）

・アルペン

・四季の森ホワイトワールド

・尾瀬岩鞍（旧尾瀬岩鞍スキーリゾート）

・クロスカントリー

・水芭蕉クロスカントリー

・コース

・ジャンプ 片品ジャンツェ

生涯学習予定表

11月

☆生涯学習講座関係

- ・トライやるスポーツT・K
- ・「ボウリング教室」
- ・第八回「古文書を読む会」

☆社会体育関係

- ・県民体育大会
- ・村民卓球大会

☆婦人会関係

- ・不用品福祉バザー
- ・ミニバレーボール大会

☆文化振興関係

- ・第三十七回片品村総合産業文化展
- ・音楽祭
- ・芸能発表会

☆学校関係

- ・郡小中音楽祭
- ・片教研授業交流会（片中会場）
- ・片小
- ・授業参観、収穫を祝う会、PTA球技大会
- ・個別面談

◇北小

- ・学校一日公開日、環境奉仕作業
- ・通学路清掃
- ・教育相談週間

◇南小

- ・学校保健委員会
- ・避難訓練

◇第三区社会福祉協議会県内視察

- ・個別面談
- ・校内かるた大会

◇武小

- ・スキー場奉仕作業
- ・避難訓練
- ・授業参観、教育相談
- ・学校保健委員会
- ・日本銀行見学

◇片中

- ・PTAあいさつ運動③
- ・片中文化の日
- ・三者面談
- ・避難訓練
- ・環境奉仕日
- ・期末テスト
- ・土曜授業参観、PTA球技大会

※予定が変更される場合がありますので、予め御了承ください。

27	11	19	18	18	13	2	2	9
29	28	21	25	21	20	17	16	下
日	日	日	日	日	日	日	日	旬
日	日	日	日	日	日	日	日	日



Culture Comparison: 文化の比較 :

It's apple picking season now, so I'm thinking about the ways people eat fruit.
りんご狩りの季節になりました。今月は果物の食べ方について考えてみます。
In Japan, it's natural to peel apples, pears, and other fruits before eating them.
日本では、りんごや梨や他の果物を食べる時には皮をむくのが普通です。
My friends tell me they do this because the skins are dirty or taste bitter.
皮は汚れていたり、苦かったりするのでもむいて食べるのだと友人はいいます。
But, in my country, we usually eat the entire fruit.
でも私の国では果物は丸ごと食べるのが普通です。
Most of the vitamins are in the peel, so I think it's healthy to eat it.
ビタミンの多くは皮の中に含まれています。皮を食べた方が健康的だと私は思います。
And, I'm too lazy to peel all my fruit... especially grapes!
それに皮をむいて食べるのはとても面倒です。特に葡萄はたいへんです。

Key words: キーワード :

pick 摘む、もぐ	bitter にかい
season 季節、時期	entire 全体の
peel (v.) 皮をむく	vitamin ビタミン
pear 洋なし、なし	peel (n.)皮(果物)
skin 皮(動物)	lazy 無精な

Question: 問題 :

Do Americans peel grapes before eating them?
アメリカ人は葡萄を食べる前に皮をむきますか？

Last Month's Answer: 先月の答え :

Of course I like lizards better than beetles. I don't like beetles at all!
もちろん私はカブトムシよりトカゲの方が好きです。カブトムシはまったく好きになれません。

October Celebration: 10月のおまつり :

10/31 Halloween (国際) ハロウィーン
Buy or make a costume, carve a jack-o-lantern out of a pumpkin, and have fun!
衣装を買うか、こしらえてください。
かぼちゃをくりぬいて提灯を作って楽しみましよう。



父の忌や羽化つくしき鬼やんま	摺淵 木村 佳江
ゴンドラを日光白根の霧が追ふ	須賀川 大竹 久代
露草のとんぼの貌や瑠璃深かし	鎌田 渡辺 和昭
庭師来て狭庭に秋の風のみち	鎌田 星野 芳江
夏暑し友の個展の尾瀬ヶ原	鎌田 吉野 道子
雷雨去り鶇が唄ふ夜明前	鎌田 寺岡 貞子
手花火に小さなひざの輪をつくり	鎌田 星野 道子
ゆかた持ち帰国の孫や盆踊り	鎌田 吉野 道子
白萩の形みだれず旧屋館	鎌田 寺岡 貞子
遠き日の亡母の声して吾亦紅	鎌田 寺岡 貞子
秋あかね童にもどる瞬時あり	鎌田 寺岡 貞子
運動場天に吸はれる赤蜻蛉	鎌田 寺岡 貞子
おほかたは木道ばかりの尾瀬の秋	鎌田 寺岡 貞子
バス停に木椅子ぼつんとこぼれ萩	鎌田 寺岡 貞子
秋の宵輝く火星の神秘かな	鎌田 寺岡 貞子
気まぐれな秋の黄蝶や風まかせ	鎌田 寺岡 貞子
目にしみる夕焼雲や萩の紅	鎌田 寺岡 貞子
休耕の峽田に繋る萩の花	鎌田 寺岡 貞子

月見草やつと目につくたんぼ道	鎌田 星野トミエ
夕焼けに小鳥さえずり秋近し	鎌田 星野トミエ
秋の道赤いシャツ着て杖ついて	鎌田 星野トミエ
俎板を使う水音に秋まじる	鎌田 星野トミエ
唐もろこし穂先真直ぐ天を指す	鎌田 星野トミエ
盆の客去りて吾家の夏終る	鎌田 星野トミエ
蛸にひかれて帰る部活の子	鎌田 星野トミエ
俎も座布団も干す梅雨晴間	鎌田 星野トミエ
ワレモコウ色づきてもう秋の色	鎌田 星野トミエ
峠道越えて出る迄蟬の声	鎌田 星野トミエ
走る子の輝く暉秋日和	鎌田 星野トミエ
空に舞う玉入れの玉虹となる	鎌田 星野トミエ
解説 羽化Ⅱうか 昆虫のさなぎが変態して成虫となること	鎌田 星野トミエ
貌Ⅱぼつ 顔 瑠璃Ⅱるり 紺	鎌田 星野トミエ
青色 鶇Ⅱいかる 大きさムク	鎌田 星野トミエ
ドリくらい。頭や尾羽、風切り	鎌田 星野トミエ
羽は黒色。その他は灰色。山地	鎌田 星野トミエ
に多い。吾亦紅Ⅱわれもこ	鎌田 星野トミエ
バラ科の多年草。山野に自生。	鎌田 星野トミエ
秋暗紅紫の小花を球形の花序に	鎌田 星野トミエ
つける。俎、俎板Ⅱまないた	鎌田 星野トミエ
百姓Ⅱ稚号として、ひやくせい、	鎌田 星野トミエ
と読む	鎌田 星野トミエ

広報文芸 片品村俳句作家協会
平成十五年九月俳句会

パソコン基礎技能講習

- 日時** ①11月18日～11月21日（4日間）
②2月17日～2月20日（4日間）
午前9時～正午
- 会場** ①新治村公民館
新治村布施365
②沼田市中央公民館
沼田市東倉内町829-1
- 内容** 日本語入力やインターネット・メールの基礎など
- 対象** 県民の方
- 定員** ①20名
②19名
- 費用** 無料
- 締切り** ①10月29日（必着）
②1月28日（必着）
- 申込み** はがきに開催日、会場名、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ〒371-8570 前橋市大手町1-1-1 群馬県庁情報政策課（027-226-2332）へ

※申込者が定員を上回る場合には、抽選のうえ受講者を決定しお知らせします。また、希望に添えない場合にもお知らせします。

電気のことなら

群馬カスタマーセンターへ

東京電力では、群馬県内のお客さまのお問い合わせやご要望、停電などの緊急連絡に迅速かつ的確に対応するため、群馬カスタマーセンターを平成15年11月4日（火曜日）にオープンいたします。

これまで、各営業所で分散しておこなっていた電話受付業務を、群馬カスタマーセンターに集中し、合理的・機能的な体制のもとで、専門スタッフがお客さまのさまざまなご用件をお伺いし、作業スタッフとの緊密な連携プレーにより理想のかたちでスピード対応させていただきます。

～群馬カスタマーセンター運営形態のご案内～

- 営業時間を月曜日～土曜日（休・祝日を除く）9時～20時までとさせていただきます。
※停電などの緊急のご用件については、全日24時間承ります。

なお、携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

- ご用件に応じた専用ダイヤル（通話料無料）を設定させていただきました。

- ・「お引越し」「ご契約変更」のお申し込みは0120-99-5221
- ・「停電」「電気料金」など、電気に関するお問い合わせは0120-99-5222
- ・「FAX申し込みサービス」のお問い合わせは0120-99-5288
- ・インターネットお申し込みサービス
東京電力ホームページ <http://www.tepco.co.jp>

下水道に加入しましょう！

むら（川）をきれいに

みぞや水路に汚れた水を流さないで、においや害虫の発生を防ぐことができます。

越本・土出のみなさん、下水道に加入しましょう。ご家庭の水洗トイレ、台所、お風呂などの汚水を下水道に流すことができます。

しかし、せつかくできあがった下水道も、各家庭に接続していただかないと、地域一帯の生活環境の改善が進みません。

下水道が使えるようになったご家庭は、1日も早く下水道への加入をお願いします。（一部地域を除く）

越本・土出 のご家庭で加入手続き等不明なことがありましたら、職員が説明に伺いますので、役場ダム対策課へご連絡下さい。

おしらせ

個人向け普通救命講習会

あなたも身につけませんか、
心肺蘇生法を！

利根沼田広域消防本部では、第4回個人向け普通救命講習会を開催します。

費用は無料で、受講者には講習修了証が交付されます。

日時 11月9日（日）午前9時から12時まで

場所 西消防署（新治村羽場59-4）

定員 20人

実施時刻 午前9時から正午まで。（8時30分から受付）

申込場所 もよりの消防署で午前8時30分から午後8時まで受付（電話申込み可。土、日、祭日も受け付けます。）

申込締切 実施日の2日前（金）

定員になりしだい締め切ります。

詳しいことは各消防署へお問い合わせ下さい

中央消防署	(24)	1734
東消防署	(56)	2300
西消防署	(64)	0002
北消防署	(72)	4349

おしらせ

医療費のお知らせ

見えますか？

国保では、みなさんが毎月お医者さんにかかった医療費について、「医療費のお知らせ」として、年六回（四月・六月・八月・十月・十二月・二月）にお送りしています。入院、通院、一ヶ月の診療日数、医療費などをお知らせしています。医療費は、受診者負担額（本人が病院の窓口で支払った額）と国保からの負担額の合計です。

ハガキを開いて、記載内容を確認していただき、不明な点がありましたら役場保健課国保係にお問い合わせください。

☎58-2111（内線32）

農薬を使用される方へ

農薬を使用される方は以下の事項に気を付けながら、適正に農薬を使用してください。

- ①ラベルに記載された安全使用基準を遵守すること
- ②農薬を施錠ができる場所へ保管すること

③農薬散布時の周辺への飛散を防止すること

④農薬の容器の洗いを河川へ流し込むことの防止

⑤帳簿を作成・記入すること

無登録農薬を使用した場合は使用者が罰則の対象になることもありますので、使用に際しては十分注意してください。

なお、不明な点がある場合は最寄りの農協又は農業総合事務所まで御相談ください。

連絡先 利根農業総合事務所

☎(23) 0338

退職金で豊かな生活

退職金の準備は万端ですか？

中退共制度は中小企業で働く従業員のための退職制度です。安全・確実・有利な中退共制度をぜひ利用ください。

制度の特色は

▼適格退職年金制度からの移行先です。

▼掛金の一部を国が助成します。

▼パートタイマーの方も加入できます。

▼掛金は税法上、全額非課税になります。

加入手続き

▼所定の申し込み用紙に記入、

押印のうえお近くの金融機関または委託事業主団体へ申し込んでください。

お問合わせ先

群馬県商工労働部労働政策課

☎〇二七(二三三) 一一一一

加入していますか 労働保険

十月は労働保険適用促進月間です

労働保険（労災保険・雇用保険）は、国が管理、運営している強制保険であり、原則として労働者を一人でも雇っていれば、事業主は労働保険の加入手続きをとらなければなりません。

労働保険は事業者が業務上または通勤途上での災害によりケガや病气などになり、さらに死亡した場合に、本人または遺族に対して必要な保険給付などを行う制度です。

雇用保険は、労働者が失業した場合に、その者の生活の安定と就職活動を支援するために必要な保険給付をしたり、事業主には雇用について各種助成金などを支給する制度です。

なお、事業主が故意または重大な過失により、労災保険の保険関係成立届を提出していない期間中に労働災害が生じ労災保

険給付を行った場合、遡及して労働保険料を徴収するほか労災保険給付に要した費用の一部を徴収することになっていきます。

加入手続き・保険料負担等、ご不明な点については、お問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

沼田公共職業安定所

TEL 二二八六〇九

沼田労働基準監督署

TEL 二三三〇三三三

図書室だより

読んでみませんか

『大川わたり』 山本一カ 著



ちょっとした失意がもとで賭場にはまった若い流しの大工が、わずか半日で20両もの借りを作ってしまう。きれいにするまで、住み慣れた深川から追放、大川から一步も入ってきたら殺すと宣告され、立ち直りを決意、苦難にめげない男の美学だ。「甘えの構造」が寒風にさらされている今こそ勇気を与えてくれる。(帯封より)

図書室カレンダー 10月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	11/1
11/2	11/3	11/4	11/5	11/6	11/7	11/8

*火~金PM1:00~5:00 開室

*■はお休みです。

*□印はみやま号巡回日です

